

京都大学構内遺跡調査研究年報

1992年度

京都大学埋蔵文化財研究センター

卷首 凶版



京都大学医学部構内AM17区SE 4出土漆器碗

序

京都大学構内の遺跡は、吉田キャンパスのほか、附属施設の敷地のいくつかにも分布しており、その大部分は周知の遺跡として登録されている。当センターは、学内の校舎建設にともなって、これらの遺跡について事前調査をおこない、その成果を各年度ごとに年次報告書としてまとめ、また重要な遺跡についてはさらに詳細な検討を加えて、各調査ごとの報告書として刊行してきた。それによって遺跡の重要性や調査の内容については、広く認識されるようになったと考えている。計画的な遺跡の調査とはなっていないものの、そこからの資料の調査・研究の蓄積は年を追って前進し、それらの遺跡を含む地域史としての復原も次第に具体化しつつあり、その一端は本年報にも反映されている。

この年報は、1992年度におこなった調査成果を第I部とし、また構内遺跡に関連する遺構・遺物の研究成果を第II部としたものである。第I部の4件の調査では、京都大学構内に残る先史時代から江戸時代にかけての遺構・遺物に関して、従来成果に加えて、この一帯の歴史的環境を復原する上で新たな資料を多数得ることができた。なかでも、第3章の医学部構内と第4章の北部構内の調査では、出土した木材や炭化材について木質科学研究所伊東隆夫教授の、また噴砂については理学部地質学鉱物学教室鎮西清高教授の協力を得て、古代～中世における木材利用についての具体的な内容と、過去の地震に関する詳細な知見を、それぞれ得ることができた。御高評をお願いしたい。

終わりに、ここに報告した調査では、学内学外の多くの関係者に御協力をいただいた。とりわけ、理学部、医学部、医学部附属病院、施設部の関係者各位に対して、お礼を申し上げる次第である。

1995年3月

京都大学埋蔵文化財研究センター長

小野山 節

例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で1992年4月1日から1993年3月31日までに発掘、整理作業を終了した埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学埋蔵文化財研究センターにおける研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50 m の方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第VI座標系 ($x = -108,000$ $y = -20,000$) が ($X = 2,000$ $Y = 2,000$) となる京都大学構内座標によって表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良国立文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE，土坑：SK のように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通して表示を統一した。
I：和歌山県瀬戸遺跡の立合調査
II：京都大学病院構内AG14区の発掘調査
III：京都大学医学部構内AM17区の発掘調査
IV：京都大学北部構内BA28区の発掘調査
(例 I 1：和歌山県瀬戸遺跡出土遺物1番)
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のものは、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 第I部の参考文献は、本文中に、〔著者名 発表年〕の形式で表わし、第I部の末に一括した。第II部については、章末の注に一括して記載した。
- 8 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺物の撮影はそれぞれ報告者が担当した。
- 9 編集は、伊藤淳史が担当し、清水芳裕、五十川伸矢、千葉 豊、古賀秀策、吉田 広、宮原恵美子、磯谷敦子、中田敬子が協力した。

京都大学構内遺跡調査研究年報 1992年度

目 次

第 I 部 1992年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章 1992年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1 調査の経過	1
2 調査の成果	1
3 和歌山県瀬戸遺跡の立合調査	3
第 2 章 京都大学病院構内 A G14区の発掘調査	9
1 調査の概要	9
2 層 位	10
3 遺 構	10
4 遺 物	14
5 小 結	16
第 3 章 京都大学医学部構内 A M17区の発掘調査	17
1 調査の概要	17
2 層位と遺構	17
3 縄文・弥生時代の遺物	23
4 古墳時代～古代の遺物	26
5 中世の遺跡	28
6 出土木材の樹種同定	56
7 近世の遺跡	58
8 小 結	62

第4章 京都大学北部構内B A28区の発掘調査	65
1 調査の経過	65
2 層位	65
3 弥生時代前期の地形と先史時代の遺物	68
4 古代・中世の遺跡	72
5 近世の遺跡	87
6 堆積物の液状化跡	106
7 出土炭化材の樹種同定	114
8 出土古銭の成分分析	115
9 小結	118
参考文献	126
京都大学構内遺跡調査要項	129

第II部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要 XI

京都盆地の弥生時代遺跡	137
1 はじめに	137
2 遺跡の群別	138
3 遺跡数の推移	142
4 遺跡分布の変遷	144
5 各遺跡群の特質	146
6 京都盆地の弥生社会	148
付編 京都盆地における弥生時代遺跡の調査	152
遺跡別参考文献	166

図版	巻末
----	----

図版目次

巻首図版 京都大学医学部構内AM17区

SE4出土漆器

図版1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点

図版2 京都大学病院構内AG14区

- 1 西調査区全景（北から）
- 2 集石SX1（南から）
- 3 井戸SE3（東から）

図版3 京都大学病院構内AG14区

黄灰色土出土遺物，茶褐色土出土遺物，SK2出土遺物，
SE1出土遺物，SE2出土遺物，SE4出土遺物

図版4 京都大学医学部構内AM17区

- 1 調査区東半（北西から）
- 2 調査区西半 灰褐色土上面（北東から）

図版5 京都大学医学部構内AM17区

- 1 調査区西半 砂礫上面（北から）
- 2 調査区西半 黄灰色砂質土上面（北から）

図版6 京都大学医学部構内AM17区

- 1 調査区西半 赤褐色土上面（北から）
- 2 調査区西半 茶褐色土上面（北から）

図版7 京都大学医学部構内AM17区

- 1 井戸SE3（東から）
- 2 井戸SE5（西から）
- 3 土坑SX5（東から）
- 4 土器溜SK43（東から）
- 5 石垣SX1（北西から）

図版8 京都大学医学部構内AM17区

- 1 縄文土器，弥生土器
- 2 石槍

図版9 京都大学医学部構内AM17区

SK7出土遺物，SD132出土遺物

- 図版10 京都大学医学部構内AM17区
S D132出土遺物
- 図版11 京都大学医学部構内AM17区
S D130出土遺物
- 図版12 京都大学医学部構内AM17区
S E 4 出土遺物
- 図版13 京都大学医学部構内AM17区
S K43出土遺物, S K58出土遺物
- 図版14 京都大学医学部構内AM17区
墨書土器, 木製品
- 図版15 京都大学医学部構内AM17区
出土木材の顕微鏡写真(1)
- 図版16 京都大学医学部構内AM17区
出土木材の顕微鏡写真(2)
- 図版17 京都大学北部構内B A28区
- 1 黒褐色粘質土上面 (西から)
 - 2 黒褐色粘質土上面遺物出土状況 (南から)
 - 3 黒褐色粘質土上面検出の砂脈 (東から)
- 図版18 京都大学北部構内B A28区
- 1 埋納遺構S K13 (真上から)
 - 2 埋納遺構S K13 (南東から)
 - 3 土器溜S X 3 (東から)
 - 4 掘立柱建物S B 1・土坑S K27 (北から)
 - 5 巨石遺構S X 7 (南から)
 - 6 井戸S E 5 (西から)
- 図版19 京都大学北部構内B A28区
- 1 近世の遺構
 - 2 堀S D 1 (西から)
 - 3 堀S D 1 遺物出土状況 (西から)

- 図版20 京都大学北部構内B A28区
茶褐色砂礫出土縄文土器，白色砂出土縄文土器
S R 2 出土弥生土器，S E 5 掘形出土縄文土器
黒褐色粘質土出土縄文土器，黒褐色粘質土出土弥生土器
- 図版21 京都大学北部構内B A28区
S K13出土遺物
- 図版22 京都大学北部構内B A28区
1 S X 4 出土遺物 2 S X 8 出土遺物
- 図版23 京都大学北部構内B A28区
S X 3 出土遺物
- 図版24 京都大学北部構内B A28区
S X 3 出土遺物，S X 5 出土遺物，S X 6 出土遺物，S K19出土遺物
- 図版25 京都大学北部構内B A28区
S K27出土遺物，S K12出土遺物，茶褐色土出土遺物
- 図版26 京都大学北部構内B A28区
S E 5 出土遺物，S K14出土遺物，茶褐色土出土遺物，表土出土遺物
- 図版27 京都大学北部構内B A28区
S E 1 出土遺物，S E 3 出土遺物，S D 1 出土遺物
- 図版28 京都大学北部構内B A28区
S D 1 出土瓦
- 図版29 京都大学北部構内B A28区
S D 1 出土瓦
- 図版30 京都大学北部構内B A28区
1 S D 1 出土瓦 2 刻印瓦
- 図版31 京都大学北部構内B A28区
出土炭化材の顕微鏡写真
- 図版32 京都大学北部構内B A28区
1 試料の出土状態
2 分析試料断面の顕微鏡写真

挿 図 目 次

1992年度構内遺跡調査の概要	
図1 瀬戸遺跡の調査地点……………	3
図2 調査区東壁南端の層位……………	4
図3 立合調査出土遺物(1)……………	5
図4 立合調査出土遺物(2)……………	5
図5 榎山嘉郎氏採集遺物(1)……………	6
図6 榎山嘉郎氏採集遺物(2)……………	7
病院構内A G 14区の発掘調査	
図7 調査区の位置と周辺の調査区…	9
図8 層 位……………	11
図9 西調査区の遺構……………	12
図10 東調査区の遺構……………	13
図11 井戸SE1・SE3……………	13
図12 黄灰色土・茶褐色土・SK2・ SK3・SE4・SE2・ SE3・SE1出土遺物…	15
医学部構内A M 17区の発掘調査	
図13 調査区東西畔の層位……………	18
図14 調査区西壁・南北畔の層位……	19
図15 黄灰色シルト・砂礫上面の地形…	19
図16 調査区検出の遺構(1)……………	20
図17 調査区検出の遺構(2)……………	21
図18 縄文・弥生時代遺物の 地点別出土頻度……	23
図19 縄文土器・弥生土器・石槍……	24
図20 弥生土器……………	25
図21 古墳時代～古代の遺物……………	27
図22 井戸SE6・SE4……………	28
図23 井戸SE12・SE3・ SE11・SE5……………	29
図24 SK7・SK91出土遺物……………	33
図25 SD132出土遺物(1)……………	36
図26 SD132出土遺物(2)……………	37
図27 SD130出土遺物(1)……………	38
図28 SD130出土遺物(2)……………	39
図29 SE4出土遺物……………	42
図30 SK62・SK41出土遺物……………	43
図31 SK43・SK67出土遺物……………	44
図32 SK66・SK58出土遺物……………	45
図33 黄灰色砂質土・ 暗赤褐色土出土遺物……………	51
図34 赤褐色土・灰褐色土出土遺物…	52
図35 墨書土器……………	53
図36 漆 器……………	55
図37 木 製 品……………	55
図38 調査区一帯の地籍図……………	59
図39 SE8・SE9・土取り穴・ 茶褐色土出土遺物……	61
北部構内B A 28区の発掘調査	
図40 調査区東西畔北壁の層位……………	66
図41 調査区南北畔西壁の層位……………	67
図42 黒褐色粘質土上面の地形と 遺物の分布状況……	68

図43	黒褐色粘質土出土弥生土器	69	図66	S D 1 出土瓦(4)	95
図44	茶褐色砂礫・白色砂・ S E 5 掘形出土縄文土器, S R 2 出土弥生土器	70	図67	S D 1 出土瓦(5)	96
図45	黒褐色粘質土出土縄文土器, 黒褐色粘質土出土弥生土器	71	図68	刻印瓦	99
図46	古代・中世の遺構	72	図69	左右棧瓦の葺き方模式図	103
図47	埋納遺構 S K 13 と 埋納状態推定復元	73	図70	刻印瓦の推定生産地	105
図48	土器溜 S X 3	74	図71	砂脈がみられる付近の 模式的な層序断面	107
図49	井戸 S E 5	75	図72	黒褐色土層表面における 砂脈の分布	109
図50	S K 13・S X 4 出土遺物	76	図73	垂直タイプ砂脈の典型的な例	110
図51	S X 3 出土遺物(1)	78	図74	水平なシート状砂脈の 微細構造	110
図52	S X 3 出土遺物(2)	79	図75	水平なシート状砂脈の 典型的な例	111
図53	S K 27・S X 5・ S X 6・S K 12・S K 15・ S K 19・S P 67 出土遺物	82	図76	細粒の砂層から上昇した砂脈 が土石流堆積物を貫き、その 中で消失する様子	112
図54	茶褐色土出土遺物(1)	83	図77	分析試料の元素組成	116
図55	茶褐色土出土遺物(2)	85	図78	改正京町御繪図細見大成	123
図56	S E 5・S K 14・S K 9・ 茶褐色土・表土出土遺物	86	京都盆地の弥生時代遺跡		
図57	近世の遺構	87	図79	京都盆地の地形と 弥生時代遺跡の位置	141
図58	灰褐色土・S E 1 出土遺物	88	図80	時期別遺跡数の推移	143
図59	井戸 S E 3	89	図81	時期別遺跡分布の推移	145
図60	堀 S D 1 の層位	90	図82	京都大学病院構内 A J 19 区出土土器	155
図61	S E 3 (1)・S D 1 出土遺物	90	図83	図84～図91のわりつけ	175
図62	S E 3 出土遺物(2)	91	図84	関連調査地点(1)	176
図63	S D 1 出土瓦(1)	92	図85	関連調査地点(2)	177
図64	S D 1 出土瓦(2)	93			
図65	S D 1 出土瓦(3)	94			

図86	関連調査地点(3)	178	図89	関連調査地点(6)	181
図87	関連調査地点(4)	179	図90	関連調査地点(7)	182
図88	関連調査地点(5)	180	図91	関連調査地点(8)	183

表 目 次

表 1	出土土器計測結果(1)	46	表 7	棧瓦・平瓦刻印の向き	101
表 2	出土土器計測結果(2)	48	表 8	丸瓦刻印の位置	101
表 3	出土木材の樹種同定結果	57	表 9	出土炭化材の樹種同定結果	114
表 4	S X 3 出土土器の計測結果	81	表10	埋納遺構の内容	122
表 5	S D 1 ・ S E 3 出土刻印瓦一覧	100	表11	京都大学構内遺跡のおもな調査	130
表 6	軒瓦刻印の位置と向き	101	表12	京都盆地弥生遺跡の消長表	139

第 I 部 1992年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章 1992年度京都大学構内遺跡調査の概要

第 2 章 京都大学病院構内 A G 14区の発掘調査

第 3 章 京都大学医学部構内 A M 17区の発掘調査

第 4 章 京都大学北部構内 B A 28区の発掘調査

第II部 京都大学埋蔵文化財研究センター紀要 XI

京都盆地の弥生時代遺跡

伊藤 淳史

1995年3月31日発行

京都大学構内遺跡調査研究年報
1992年度

編集行 京都大学埋蔵文化財研究センター
京都市左京区吉田本町
印刷製本 (株) 北斗プリント社
京都市左京区下鴨高木町

正 誤 表

京都大学構内遺跡調査研究年報 1992年度

頁	行	誤	正
9	4	192・ <u>193</u> 地点	192・ <u>198</u> 地点
51	図33 キャプション	Ⅲ <u>255</u> 青磁	Ⅲ <u>355</u> 青磁
83	図54 遺物番号	IV <u>123</u> IV <u>124</u> ～IV <u>132</u>	IV <u>132</u> それぞれIV <u>123</u> ～IV <u>131</u> に
84	4	IV <u>127</u> ・IV <u>129</u> ・IV 130	IV <u>127</u> ・IV <u>128</u> ・IV 130
85	1	IV <u>144</u> ～IV 153	IV <u>145</u> ～IV 153
120	13	IV <u>124</u> ～IV <u>126</u>	IV <u>123</u> ～IV <u>125</u>